

マンション向け大型門扉 取付マニュアル 「壁付タイプ用」

この度は、新日軽の製品をお買い上げいただき誠にありがとうございます。
正しい施工をしていただく為此のマニュアルをお読みください。
施工完了後はお施主様へお渡しください。



施工上の注意事項

施工にあたっては次の点をご確認ください。

- ① モルタル用に海砂を使用されますと、多量に塩分が含まれています為、アルミの腐食の原因になりますのでご使用を避けていただくか、十分水洗いしたものをご使用ください。
- ② モルタルやコンクリートの抽出液は強アルカリ性で、しみやむら等の外観不良や腐食の原因になりますので工事中にアルミの表面に流れない様にご注意してください。
- ③ モルタルやコンクリートの急結剤は腐食の発生や促進作用があるので、その使用を避けていただくか、塩化カルシウムや塩素系の化合物、珪酸ナトリウム等の入っていないものをご使用ください。
- ④ 施工時にアルミ製品の表面に付着したモルタルやコンクリート等は速やかに清掃してください。また表面にキズをつけますと腐食しやすくなりますので取り扱いには十分注意してください。
- ⑤ アルミ製品等の異種金属が接触しないようにしてください。接触する場合にはビニールテープ等を貼るか塗料等で絶縁処理をしてください。
- ⑥ 腐食の恐れのある接着剤や化学製品を施行上使用する場合は、アルミ製品と接触しないようにしていただくか、接触する部分を完全に養生してください。
- ⑦ 寒冷地では柱を立ててからモルタルを詰めてください。モルタルを入れてから柱を立てますと、柱内部に水が入り凍結破損の原因となります。
- ⑧ 外開きタイプでは開閉時に扉が公道（道路面）等へ飛び出さない位置に設置してください。
- ⑨ 養生期間は十分（5日以上）とってください。養生中は動くことの無いようにご確認ください。
- ⑩ 錠・ヒンジなど他金物の取付けは、各梱包内のマニュアルをご参照ください。
- ⑪ 施工終了後は扉の開閉チェックを行い、不具合が無いか確認してください。
- ⑫ みだりに改造しないでください。

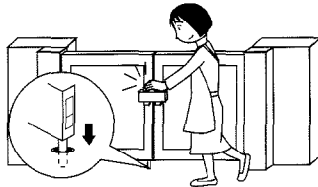
● 安全のために必ずお守りください

この手引き書に示した注意事項は、安全に関する重要な内容を示しています。人身事故や財産への損害を未然に防止するため、次のような絵表示をしています。

絵表示	意味	絵表示	ご使用上の注意とお願い
	この表示を無視して誤った取り扱いをすると使用者等が負傷する危険や物的損害の発生が予想されることを表しています。		「必ず行っていただくこと」を示しています。

注意 通常ご使用されない場合は必ず施錠してください。また、落し棒の付いている製品は、必ず落し棒を落してください。

■ 突風などで扉が開き、人や壁に当たると事故や破損につながります。



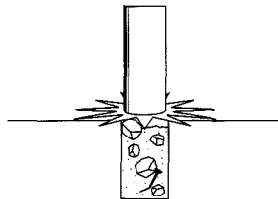
注意 開閉操作の際は、周囲に人や物がないことを必ず確認してください。また、開閉操作はゆっくり行ってください。

■ 扉に人がはさまれ、事故の発生する恐れがあります。特にお子様にはご注意ください。
■ 激激な操作は、思わぬ事故につながります。



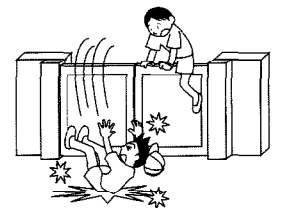
注意 落し受に土・砂・ゴミなどがたまった場合は、必ず取り除いてください。定期的なおそうじをおすすめします。

■ 落し棒のかけが小さくなると突風などで扉が開き、人や壁に当たると事故や破損につながります。

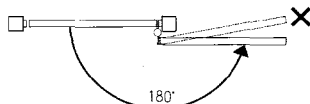


注意 扉の上に乗ったり、物をのせたりしないでください。また、むやみにゆすったりしないでください。

■ 転落したり、脱落により事故が発生する恐れがあります。



注意 扉を180°以上開かないでください。

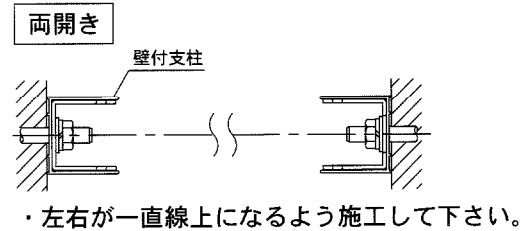
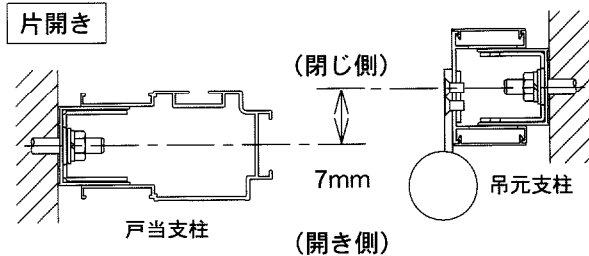


注意 ネジ・ボルトのゆるみが発生した場合は、必ず増し締めを行ってください。また、むやみに改造などしないでください。

1

壁付柱の取付け

- ・壁に下記ピッチでφ 8.5の穴を開けアンカーを打ち込み壁付支柱をナットで固定します。
- ・片開きの場合は戸当支柱と壁付支柱の中心をを7mmずらして施工して下さい。
- ・両開きの場合は、壁付支柱は左右が一直線上になるよう施工して下さい。
- ・壁がタイル仕上げの場合は専用のドリルキリを使用しひび割れに注意して施工して下さい。

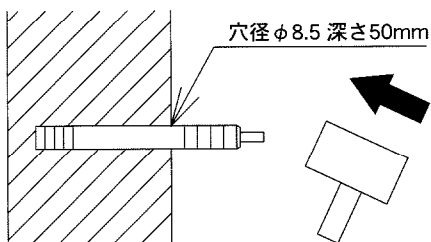


・左右が一直線上になるよう施工して下さい。

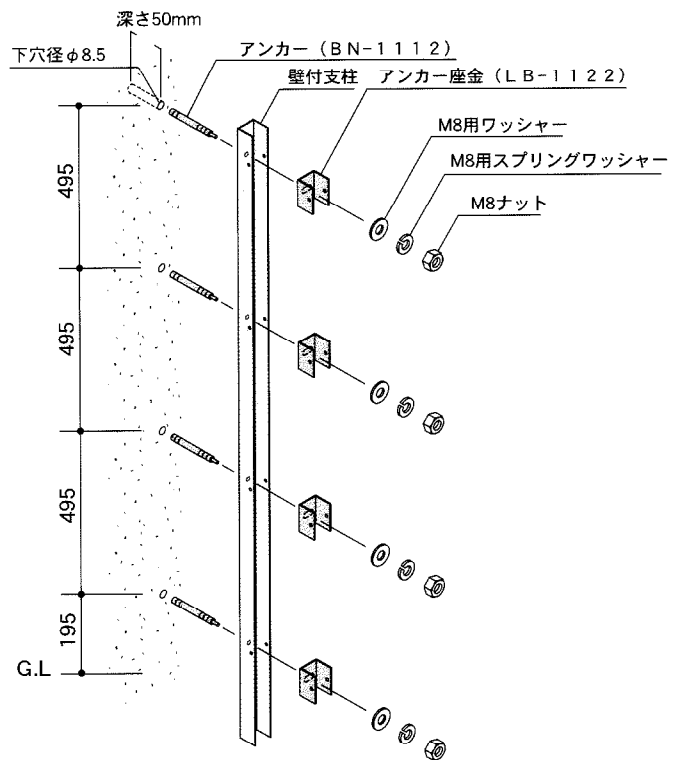


片開きの場合は、吊元側の柱を7mm、扉を閉じる側にずらして施工して下さい。

打ち込みアンカーの施工方法



- ・コンクリートドリルで穴をあけ、穴のごみを取り除いた後、ハンマーでアンカーのピンを叩いて打ち込みます。

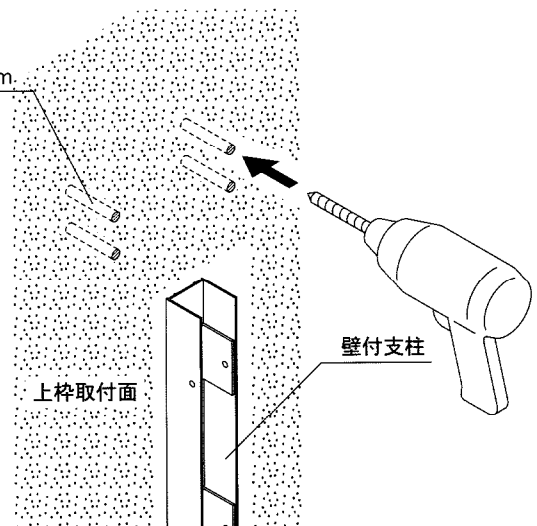


2

上枠アンカーの下穴あけ

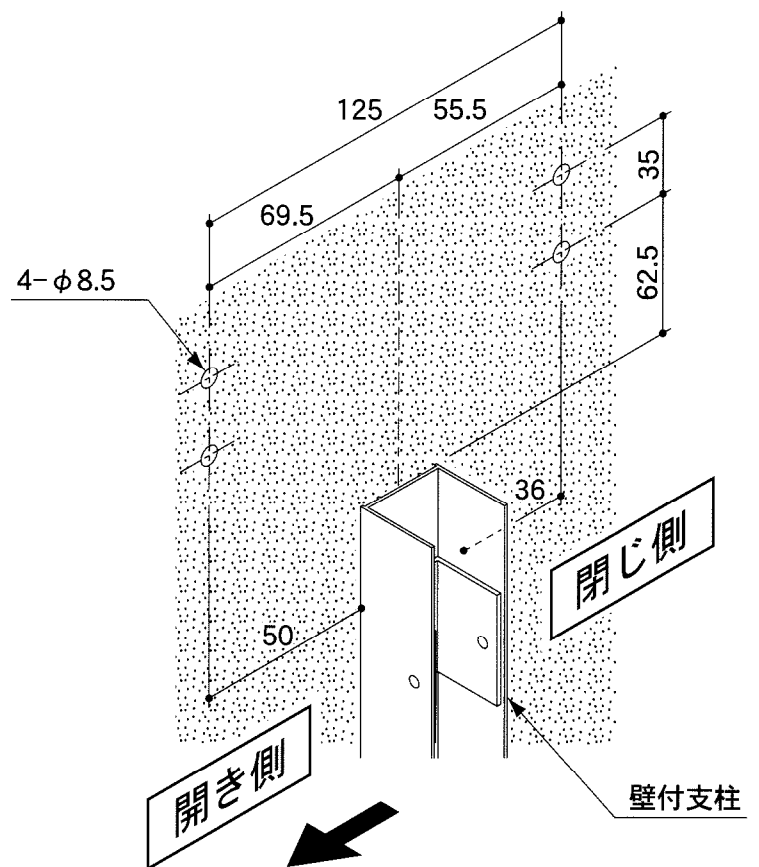
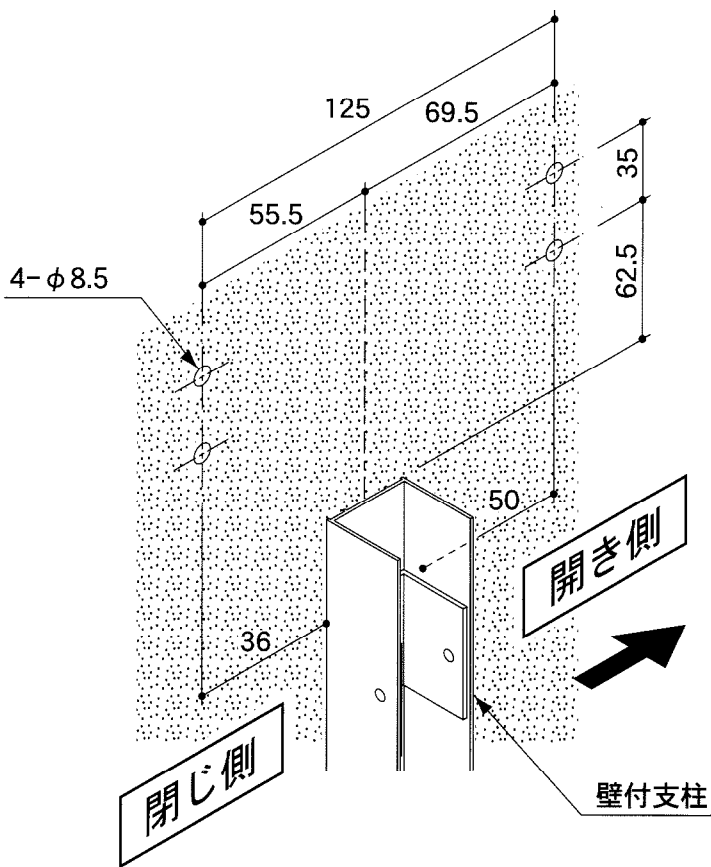
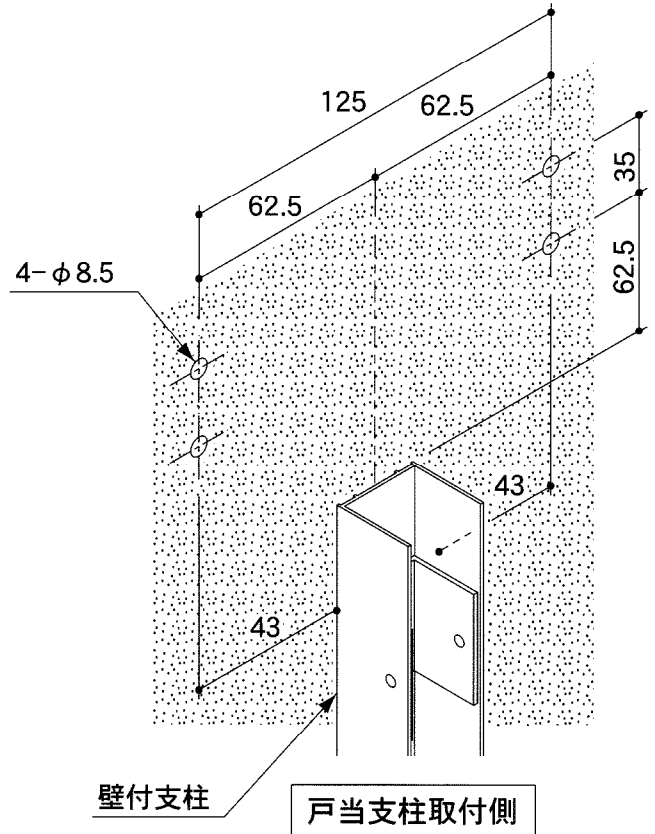
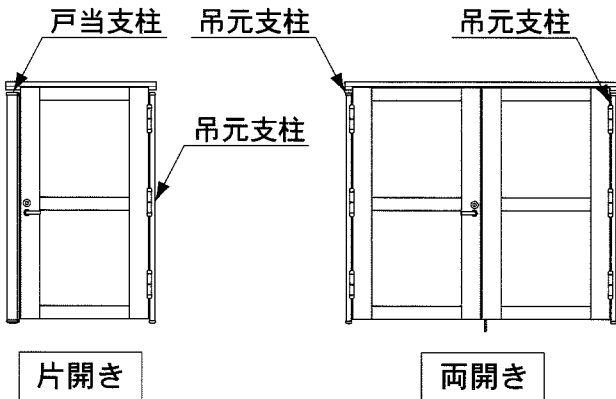
- ・上枠取付面に次ページの上枠アンカー下穴位置図を参考にして上枠アンカーの下穴をあけておきます。

穴径φ 8.5、深さ50mm



上枠アンカー下穴位置図

! 吊元支柱側の上枠位置は開き方向によって変わってきます。



吊元支柱取付側

※開き方向によって穴位置が変わります。

3

吊元支柱、戸当支柱の取付け

① ヒンジセットは開き勝手によって A・Bのいずれかのタイプを使用して下さい。

A・Bタイプの選択は右図中ヒンジ部の記号に従って下さい。

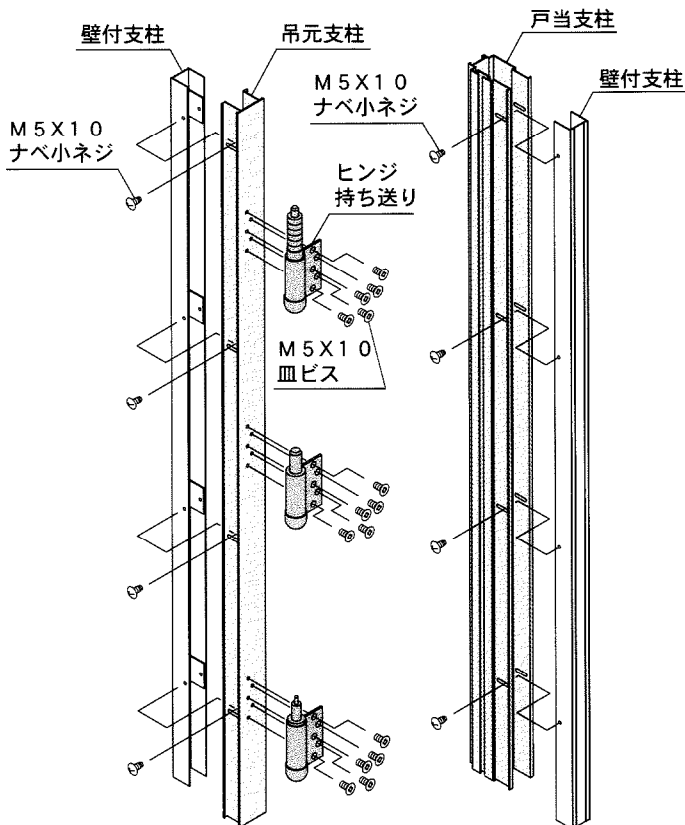
ヒンジのA・Bタイプの見分け方

・ヒンジ羽根部に、下記の刻印があります。

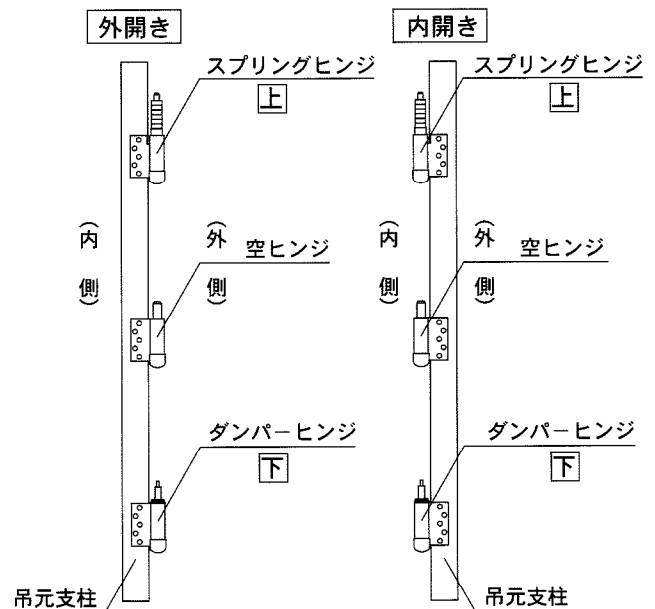
Aタイプ — L
Bタイプ — R

	外開き		内開き	
	左勝手	右勝手	左勝手	右勝手
片開き	(内側) (外側)	(内側) (外側)	(内側) (外側)	(内側) (外側)
両開き	(内側) (外側)	(内側) (外側)	(内側) (外側)	(内側) (外側)

② 開き勝手によって吊元支柱の上下を回転させて方向を決め、吊元支柱とヒンジ持ち送りの穴位置を合わせ、ヒンジ持ち送りを吊元支柱に取付けて下さい。



③ 開き勝手に注意して吊元支柱、戸当支柱をそれぞれ壁付支柱にビスで固定して下さい。

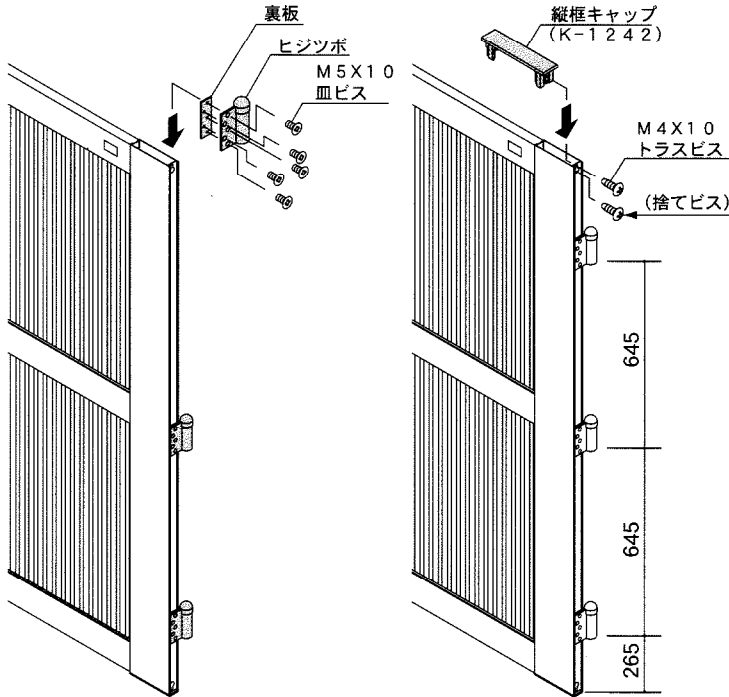


- ・ヒンジ持ち送り取付け時、ヒンジの種類及び向きに注意して固定して下さい。
- ・オートヒンジセットには、スプリングヒンジに **上**、ダンパーヒンジに **下** のシールが貼ってあります。
- ・上図はオートヒンジセットの場合を表わします。空ヒンジセットの場合は上・中・下とも空ヒンジとなります。

4

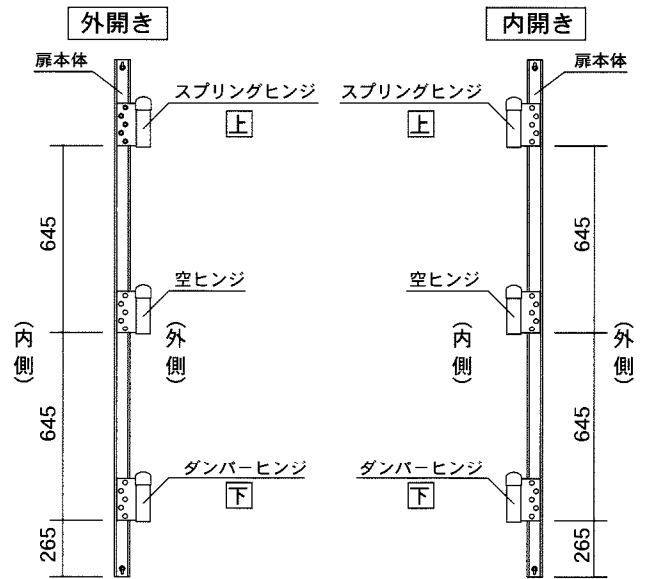
ヒジツボ及び框キャップの取付け

- ① ヒジツボと裏板をM5X10皿ビスで仮止めし、扉の吊元側（キャップを取付けていないところ）からヒンジヒジツボをスライドして入れ右下図の位置で固定して下さい。
- ② ヒジツボ取付け後、框キャップを門扉に取付けて下さい。
- ③ キャップ取付け時、捨てビスをして下さい。



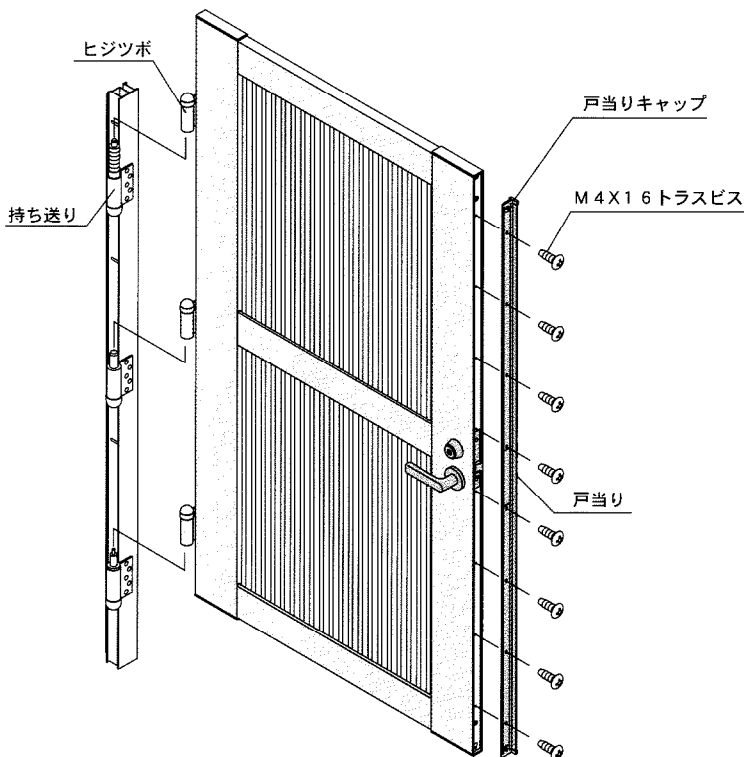
! この時ヒンジの種類、及び向きに注意してヒンジヒジツボを固定して下さい。

- ・オートヒンジセットには、スプリングヒンジに **上**、ダンパーヒンジに **下** のシールが貼ってあります。
- ・下図はオートヒンジセットの場合を表わします。空ヒンジセットの場合は上・中・下とも空ヒンジとなります。



5

戸当り、錠の取付け及び扉の吊込み



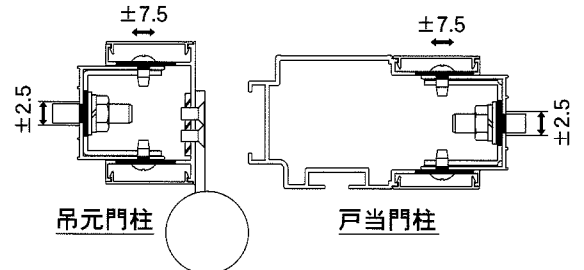
- ① 戸当りの向きに注意し、掛扉に戸当りを取付けて下さい。

! 戸当りは **3** の開き勝手の図を参考にし、方向を決めてから門扉に取付けて下さい。

- ② 錠梱包内の取付けマニュアルを参照し、錠を取付けて下さい。
- ③ 扉を吊元支柱に吊込んで下さい。
- ④ オートヒンジの設定をして下さい。

! オートヒンジの設定方法については別途オートヒンジ梱包内のオートヒンジ取付・取扱マニュアル「ME-1380」を御覧下さい。

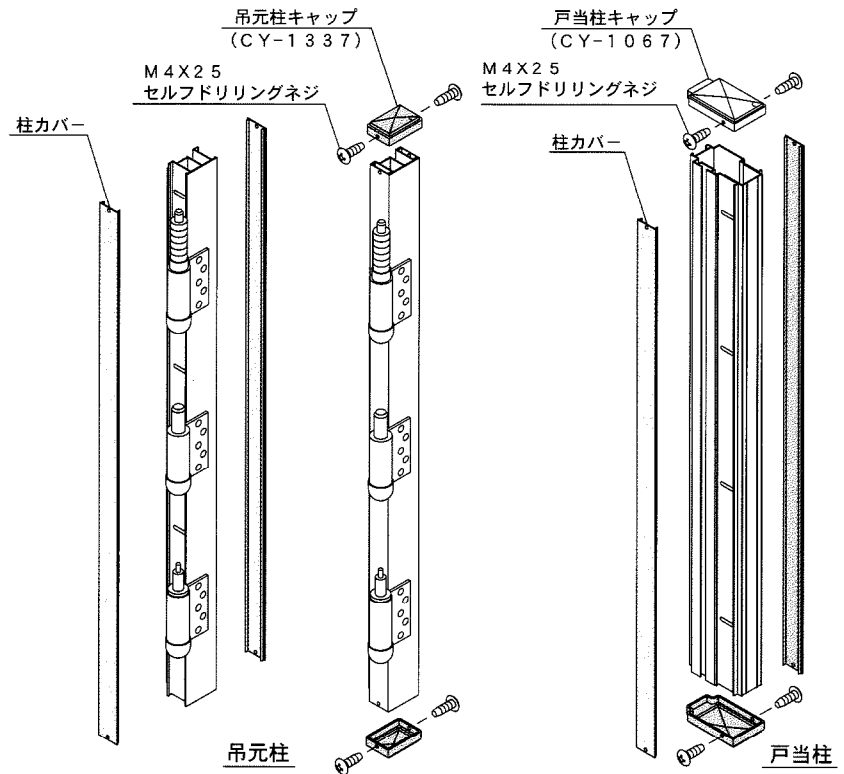
- ⑤ 納まりを参考の上、門扉を吊込んだ状態で召合部チリ、通り芯の調整をして下さい。



6

柱カバーキャップの取付け

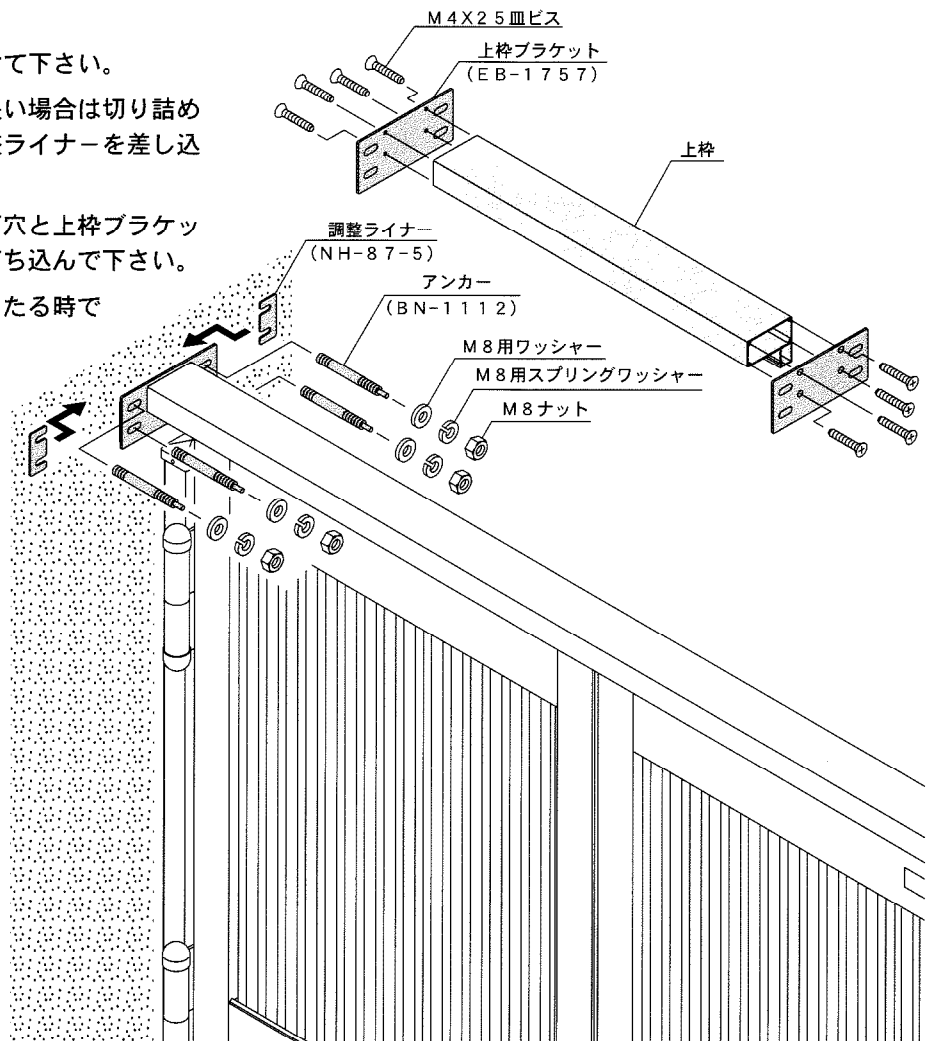
- ・門柱にカバーを取付けた後、上下にキャップをはめテクスビスで固定して下さい。



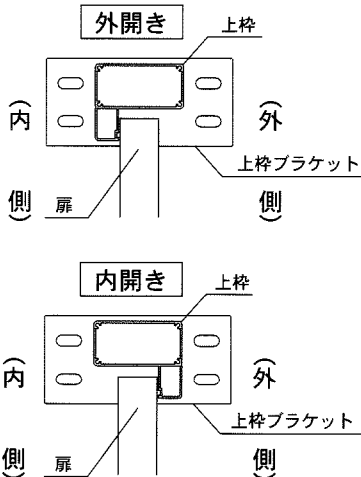
7

上枠の取付け

- ・上枠の両側に上枠ブラケットを取付けて下さい。
- ・上枠を取付け面に仮当てし、上枠が長い場合は切り詰めて下さい。又、短い場合は付属の調整ライナーを差し込んで調整します。
- ・上枠の向きに注意し、**2** であけた下穴と上枠ブラケットの長孔の位置を合わせアンカーを打ち込んで下さい。
- ・扉を閉じた状態で、上枠に扉上部が当たる時で位置を決めワッシャー、スプリングワッシャー、ナットで固定します。



上枠の向きに注意して取付けを行って下さい。



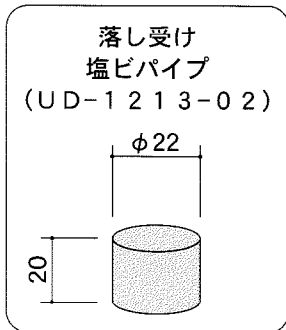
8

落とし受けの取付け（両開きのみ）

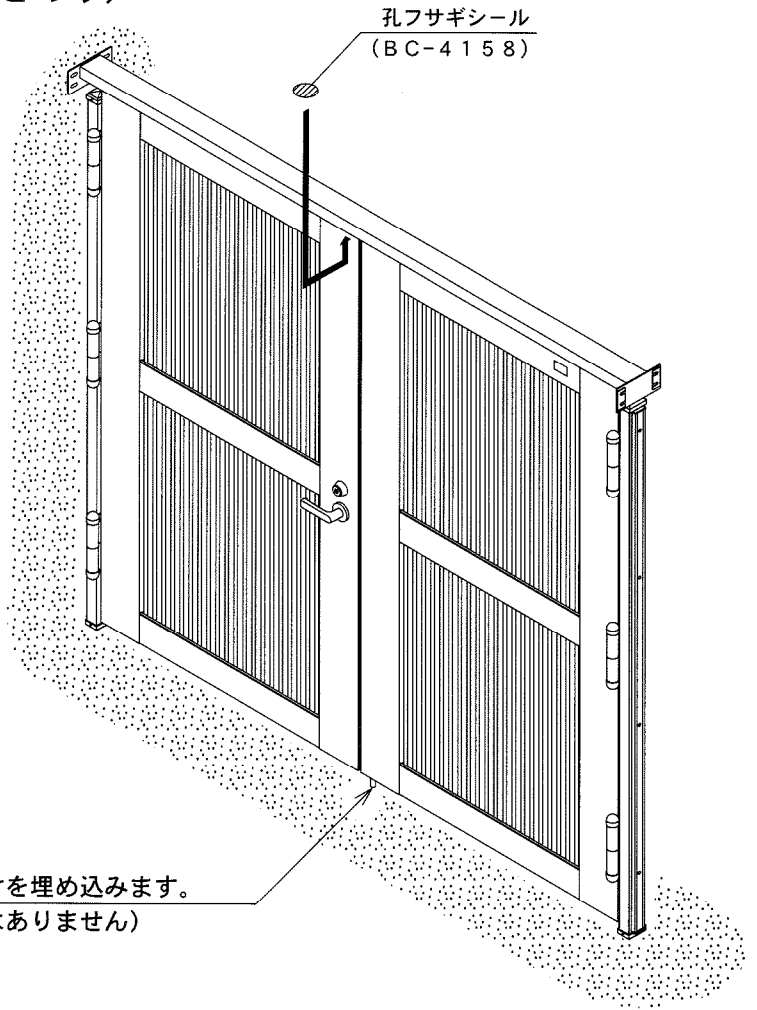
- ① 扉を閉じた状態で、受扉上下の動きを確認し、下側落とし棒を落とす位置に、落とし受けを埋込んで下さい。
- ② 上枠の落とし棒のつかない方の穴を孔フサギシールでふさいで下さい。



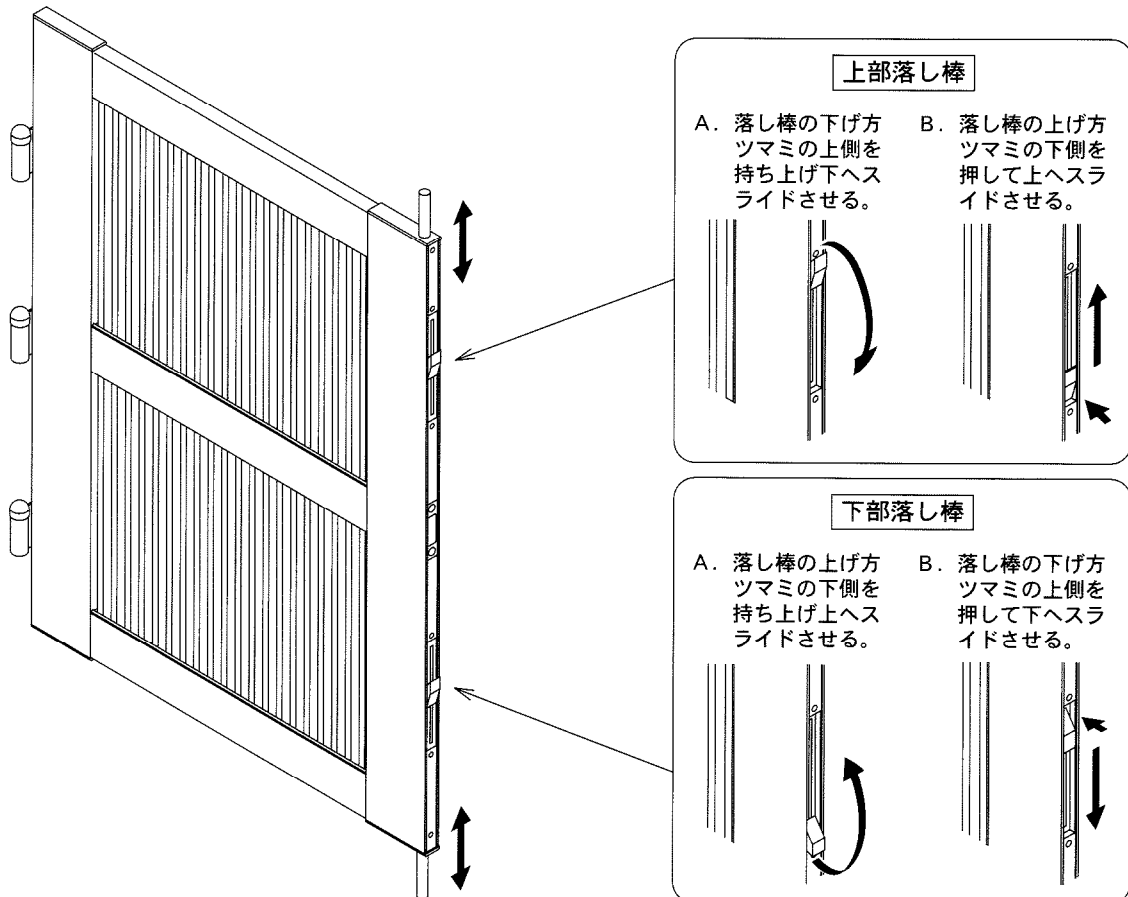
- ・受扉には上下両方に落とし棒があります。上下とも動きがスムーズか又、受けにキチンと入るか確認して下さい。
- ・通常時は受側扉は、常に上下とも落とし棒を掛けた状態にしておいて下さい。



床面に落とし受けを埋め込みます。
(片開きにはありません)



・落とし棒操作の方法



お手入れのお願い

アルミはスチールなどと比べ、サビに強い性質をもっています。使用中に表面に付着した汚れを長時間、放置しておくことと腐食の原因になる場合があります。いつまでも美しくお使いいただけるために定期的なお手入れを行ってください。

腐食の原因は……

大気中の汚れが最大の原因です。ほこり・ばい煙(すず)・鉄などの金属粉・亜硫酸ガスなどの排気ガス・海塩などです。これらがアルミの表面に付着したまま長く放置しておくことと空気中の湿気や雨水の影響を受け、アルミを腐食させてしまうことがあります。

お手入れについて

アルミを腐食から守る方法は定期的な水洗いが最も効果的です。年に1~2回の水洗いと空ふきだけで大きな効果があります。汚れのひどい工業地帯・海岸の近くなどでは、状況によりお手入れの回数を増やしてください。又、車や給湯器の排気ガスが直接当たる所ではアルミが腐食する可能性が非常に高いため、特に注意してこまめにお手入れをして下さい。

汚れの程度	清掃方法
汚れが軽い場合	水にぬらした布・スポンジでふき、空ふきしてください。
汚れがひどい場合	中性洗剤をうすめた液で汚れを落とし、洗剤が残らないよう水洗いしてから空ふきしてください。
汚れが著しくサビが出ている場合	スコッチブライト(住友3M)または、目の細かい紙ヤスリで軽くこすり、汚れ・サビを取り除いた後、水洗いし空ふきしてください。



お願い

- お手入れには、布やスポンジなど柔らかいものをご使用ください。金属製ブラシ・金ペラ・目の荒いヤスリなどの使用は避けてください。
- 洗剤は中性洗剤をうすめてご使用ください。また、水洗い後は洗剤が残らないように十分水洗いしてください。放置しますと腐食の原因となります。
- 小石・砂などが付着したままこするとアルミ表面に傷がつきます。あらかじめ取り除いて下さい。

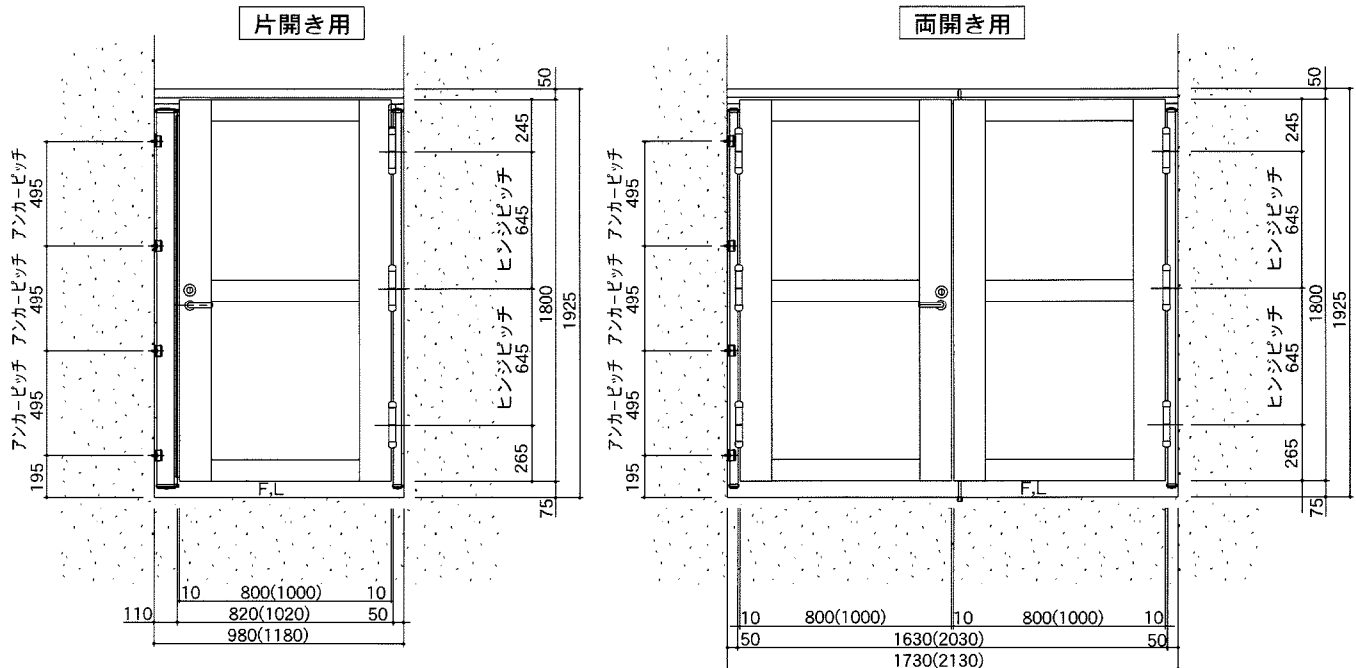
梱包内容

- 開梱時に次の品物がそろっているか確認して下さい。

万一欠品などがございましたら、お買い上げの販売店・もよりの営業所までお申しつけ下さい。

名称	梱包内容
掛扉	扉本体①、框キャップセット①、戸当り①
受扉	扉本体①、框キャップセット①
上枠、柱セット 壁付タイプ 片開き用	壁付支柱②、吊元支柱①、戸当支柱①、柱カバー④、上枠①、部品セット①、取付マニュアル①
上枠、柱セット 壁付タイプ 両開き用	壁付支柱②、吊元支柱②、柱カバー④、上枠①、部品セット①、取付マニュアル①

納まり図



・ () 内寸法は扉W：10サイズの時の寸法を示す。